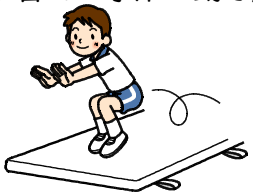
駒本小学校エリア
「学びの教室」通信
No.5
令和6年9月4日
特別支援教室「学びの教室」
巡回指導拠点校・通級指導校
文京区立駒本小学校
校長　根来　郁明
文京区立汐見小学校（巡回校）
校長　山田　晴康
駒本小学校特別支援教室直通電話　3827−5575（ファクシミリ兼用）

身体を動かすということ

９月に入っても、まだ暑い日が続いていますが、もうしばらくすると、身体を動かすのに適した季節がやってきます。

さて、特別支援教室を利用する子どもたちの中には、協調運動に弱さ*があるお子さんがいます。この発達特性（課題）は、誤解を受けやすく、怠けていたり無気力だったりしているように捉えられてしまうことがあります。多くのお子さんが、難なくやれることでも、大変な努力や時間を要してしまうことがあり、周囲にも理解されにくいという現実もあります。これは、日常生活の何気ない動作を行う際に、たいていの人は、意識をして身体の各部位を動かしているわけではない（例：筋肉への力の入れ具合、関節の曲げ方など）ため、課題がある子どもたちについての理解や想像が難しいことが理由とされています。

上述のことに関連して、特別支援教室においては、小集団学習や個別学習で「身体の動き」区分の次の3つの項目の活動を展開しています。



・姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること
・日常生活に必要な基本動作に関すること。
・作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。

一方で、特別支援教室で、本格的・専門的な介入を意図しても、週当たりの時数の関係などの制約があり、必ずしも実効性がある指導が実施できるとは限りません。ある程度、繰り返しの取り組みが大切になる場合は、担当者が連絡ファイルなどで家庭での実施をお願いすることがあります。その際は是非ご協力をお願いします。

*「協調」という脳機能の発達に問題があるために、運動や動作にぎこちなさが生じたり、姿勢に乱れが生じ、日常生活に支障が出てしまう発達の特性。「協調」とは、視知覚、触覚、固有覚（自分の体の動きの認識）などの身体の外部や内部から絶えず入ってくる多数の情報をまとめ上げ、本人の運動企図（何をしようか）・運動計画（どのようにしようか）に基づいて、身体の動きの速さ、強さ、タイミング、正確さ、姿勢やバランスなどを適切にコーディネートして運動・動作を行い、さらにその結果もふまえて、体の動きを微調整していくという、「脳」の一連の機能。　（NHK　ハートネットより）

＜保護者の皆様へ①　２学期個人面談について＞

１０月は、前期と後期の切り替え時期に当たります。学年や指導開始時期に関係なく、特別支援教室の利用児童の全ご家庭が面談の対象となります。別途配布の個人面談の日程希望調査票の回収にご協力をお願いします。

＜保護者の皆様へ②　傘の忘れ物＞

「いずみ門」から入ったところにある通級専用玄関の傘立てに、女性用（と思われる）傘の忘れ物があります。夏季休業中は、複数回研修会を開催したので、その研修会参加者の忘れ物かも知れませんが、面談でお越しになった保護者の方も多いので、念のためお知らせいたします。

傘は特別支援教室の傘立てで大切に保管してありますので、お心当たりのある方はご連絡をお願いします。

9月のコミュニケーションタイムの主な学習予定

「サーキットトレーニング　B」

今回も、特製のサーキットカードを手に、各運動コーナーを自分で回ります。多目的ホールはエアコンが効いていて涼しいため、身体を動かすことを楽しみにしている子どもも多いようです。

なお、今回のサーキットでは、これまでとは異なる運動コーナー（新しい種目）が登場します。どのような運動だったか、ぜひご家庭でお子さんに尋ねてみてください。

●学習指導要領「自立活動」関連項目
5　身体の動き
（5）作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること
6　コミュニケーション
（5）状況に応じたコミュニケーションに関すること

＜保護者の皆様へ③＞

小集団学習動画参観

１学期の動画参観では、多くの保護者の方々にご参観いただきありがとうございました。今学期も下記日程で動画参観を実施いたします。途中入退出自由、未就学児同席可となっておりますので、お気軽にお越しください。

※ご参観の際は「いずみ門」よりお越しください。

日時：令和６年９月１４日（土）８：４５～９：２０頃
場所：「学びの教室」多目的ホール
内容：小集団学習の動画参観（第３学年中心）
対象：特別支援教室「学びの教室」利用児童の保護者の皆様